



中学部作業学習Ⅱ期

(9月26日～30日)

クラフト班では、スマートフォンスピーカーやカレンダーの製作、農園芸班では、山内いものこの収穫や販売などに取り組みました。Ⅰ期は土・日をはさんだ5日間でしたが、Ⅱ期は5日間連続の作業学習週間を行いました。「自分から」あいさつや返事をする、「自分から」準備や片付けをする、「自分から」先生に話すなど、「自分から」主体的に取り組む生徒が増えました。報告会では、自分の目標の達成に向けて頑張ったことを全員が自信をもって発表しました。引き続き、作業学習をとおして「働く力」を育てていきます。



高等部実習見学

(10月7日)

中学部は、職業の学習で高等部の実習見学を行いました。「静かにポリパックの仕事をしていました。ぼくもやってみたいと思いました。」「お酒の箱折は、しわをつけないように丁寧に折るのが大変そうでした。」「一生懸命作業をしていて、かっこいいと思いました。」など、先輩たちが働く姿を見た感想を話す生徒もいました。高等部に進学した後のイメージをもつ機会になりました。



高等部後期実習 (9月26日～10月7日)

1年生は前期同様校内で、ポリパック作業を行う丸三化成班、日本酒の箱折りや封筒作りを行う紙工班、農作業を行う農耕班に分かれて実習を行いました。作業の正確さや作業態度など働く上で必要な力を意識して取り組みました。2年生は、福祉事業所や企業への地元実習を行い、校内実習や作業学習で身に付けた力を生かして取り組みました。3年生はこれまでの実習を踏まえて、卒業後の進路決定を意識して実習に取り組みました。作業だけでなく、家庭での過ごし方も一人一人が目標をもって臨みました。



【校内実習】
丸三化成班
(ポリパックの結束)



【校内実習】
紙工班
(箱折り)



【地元実習】
制作活動



【地元実習】
タオル畳み

職業ガイダンス（高等部2年生）

9月12日（月）職業Iグループの生徒を対象に、職業ガイダンスが開催されました。職業ガイダンスでは、秋田県障害者職業センターの上席障害者職業カウンセラー 猪本 香 様と、障害者職業カウンセラー 千葉 亜矢 様を講師にお迎えし、「働くことについて考えよう」というテーマで、「なぜ働くのか」「会社が雇いたい人とは」「職場でのコミュニケーションの大切さ」について、講義をいただきました。

講義では「休まず学校に通えること」、「身だしなみは整っているか」、「やる気、元気があるか」、「あいさつ、返事、報告、質問ができるか」、「自分の考えや気持ちを伝えることができるか」、「同級生や先生と協力して作業ができるか」など、働くために必要な力についてチェックシートに記入をし、現在の自分の力について確認をしました。

また、道具の扱い方などの技術を身に付けるために「家での手伝いを行う」こと、学校では職場でのコミュニケーションの力を身に付けるために、「先生に対して丁寧な言葉遣いをする」ことなど、働くための力を付けるために、今からできることについて具体的に教えていただきました。

職業ガイダンスは、後期実習の事前学習も兼ねており、職業ガイダンスで学んだことを意識し、それぞれの実習に取り組みました。これからも働くために自分はどんな力を付けていく必要があるのかを考え、自分の目指す進路に向かい、学習や生活に取り組んでほしいと思います。



卒業生は今



令和2、3年度卒業生です。「NPO 法人そら」を利用しています。「NPO 法人そら」は、就労継続支援 B 型、生活介護、日中一時支援事業を行っている横手市内の事業所です。主な作業内容は、畑作業や小物作り、ポリパック作業等です。冬季は除雪も行います。利用者のみなさんは「明るく、楽しく」をモットーに、協力して取り組んでいます。卒業生の皆さんは作業にも慣れ、よそ見をしたり余計



な話をしたりせずに、静かに集中して働いています。

また、行事にも積極的に参加して楽しんでいます。

